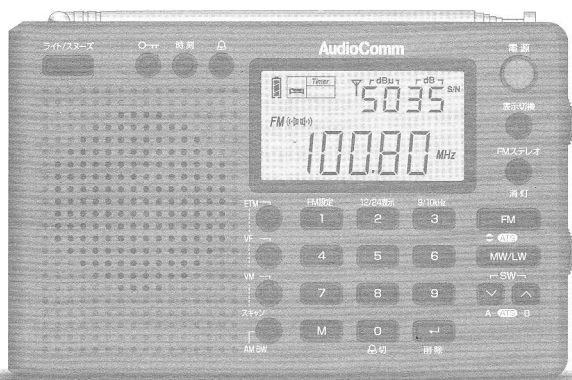


AudioComm®

取扱説明書

DSPワールドレシーバー

型番: RAD-S800N 品番: 07-7968



このたびは、AudioComm® 製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。”なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1	メニュー設定	17
電源について	4	イヤホンで聴く	21
各部の名称	5	故障かなと思ったら	21
受信状態を良くするために	7	お手入れ方法	21
スタンドの利用について	7	保証書とアフターサービスについて	22
時計の合わせ方	7	主な仕様	22
ラジオを聴く	8		

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は感電注意が描かれています。）



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止が描かれています。）



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は、ACアダプターをコンセントから抜く、が描かれています。）

※この製品の故障、誤動作、不具合などによって発生した附随的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

 異常の時は コンセントから 抜く	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 接触禁止  感電に注意	●雷が鳴り始めたら、アンテナやACアダプターに触れないでください。感電の危険があります。
 分解禁止	●本体を修理、改造しないでください。火災・感電の原因となります。	 異物が入った時は コンセントから 抜く	●万一、機器の内部に異物が入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 水が入った 場合は コンセントから 抜く	●万一、内部に水などが入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	 禁止	●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 禁止	●付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属の電源ACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。	 禁止	●ACアダプターコードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず重いものをのせてしまうことがあります。
 コードを交換する	●ACアダプターコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止し、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	 禁止	●ACアダプターコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
 水かけ禁止	●浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。火災や感電の危険があります。	 禁止	●この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないでください。火災の原因となります。

⚠ 注意

 禁止	●調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	 コンセントから 抜く	●お手入れの際には安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
 禁止	●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	 禁止	●濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
 禁止	●ACアダプターコードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止	●ACアダプターを抜く時は、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACアダプター本体を持って抜いてください。

⚠ 注意(前ページから続く)

 禁止	●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	 コンセントから抜く	●移動させる場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。コンセントから抜く時は必ずACアダプター本体を持って抜いてください。
 禁止	●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	 アンテナに注意	●移動させる場合は、アンテナをたため、ワイヤーアンテナを外してください。伸ばしたまま持ち運びと引っ掛かったりして折れたり、けがの原因になることがあります。
 乾電池の電極性に注意	●乾電池を挿入する場合、極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。間違えますと乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 音量に注意	●電源を入れる前には音量ボリュームを最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。 ●イヤホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。周囲の迷惑になるとともに、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
 禁止	●指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池、アルカリとマンガンなど種類の異なる乾電池を混ぜて使わないでください。乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 コンセントから抜く	
 禁止	●電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニター等)に近づけないでください。電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。		●旅行などで長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜き、乾電池も取り外してください。火災・液もれの原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

 警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない ・新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池(マンガンとアルカリ)を混ぜて使わない	 注意	・+-の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わない時は乾電池を取り外しておく
--	--	---	---

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入った時は、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する時、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

電源について



AC アダプターコードを抜き差ししたり、乾電池を出し入れする時は、電源ボタンを押し、電源が切れた状態で行ってください。



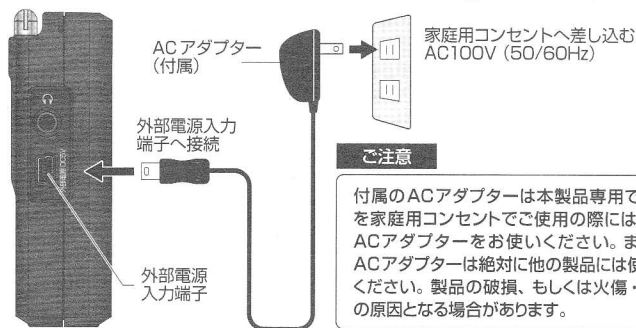
電源を切る前には音量（ボリューム）を最小にしてください。次に電源を入れて操作した時、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用コンセントで使うには

付属のACアダプターを本機左側面にある外部電源入力端子へ接続した後、家庭用コンセントに差し込んでください。

※乾電池が入っている場合でも、ACアダプターを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。

※本機を使用しない時は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

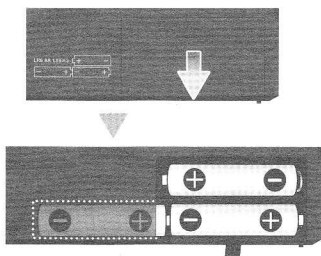


ご注意

付属のACアダプターは本製品専用です。本製品を家庭用コンセントでご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

乾電池(別売)で使うには

1. 本機背面の電池カバーを開けてください。
2. 単3形乾電池（別売）を3本、 $\oplus$ $\ominus$ の向きに注意しながら正しく入れます（下図参照）。
3. 電池を入れ終わったら、電池カバーを元通りにパチンと音がするまで閉めてください。



単3形乾電池×3本（別売）

※乾電池で使う時は、ACアダプターが本機左側面の外部電源入力端子から抜かれていることを確かめください。接続されたままですと乾電池では使用できません。

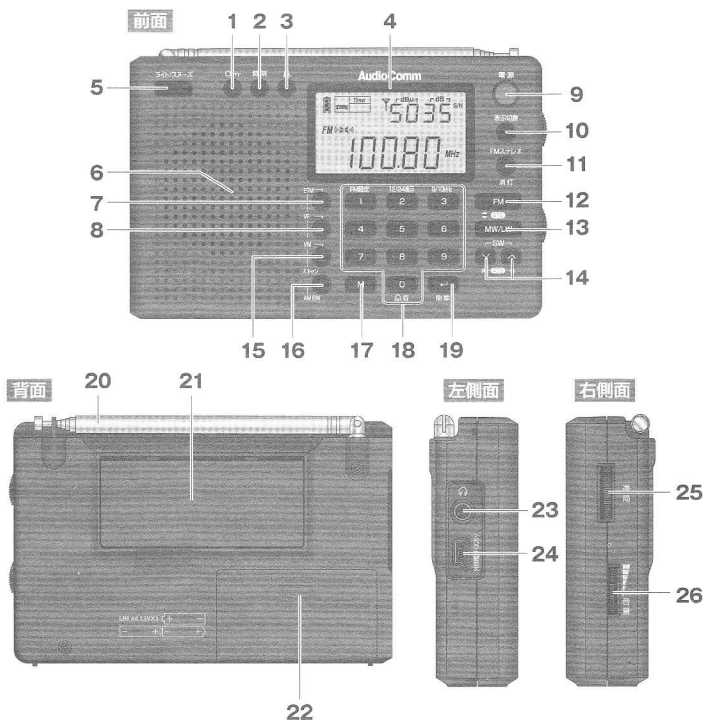
※乾電池交換の目安として、乾電池が消耗すると、雑音が多くなったりします。このような状態になったら、乾電池を新しいものと交換してください。

※3本のうち1本は下段左奥にスライドさせて入れます。取り出しやすいようにリボンの上から装着してください。

アルカリ乾電池をぜひご使用ください

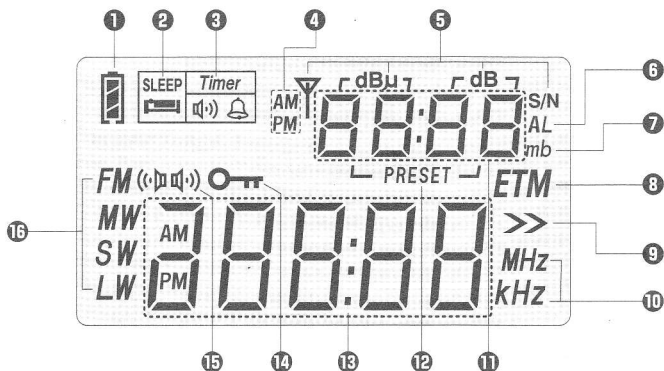
マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります

各部の名称



- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. ロックボタン | 14. SW ボタン(V/Λ) |
| 2. 時刻ボタン | 15. VM ボタン |
| 3. アラームボタン | 16. AM BW ボタン |
| 4. ディスプレイ | 17. メモリーボタン |
| 5. ライト/スヌーズボタン | 18. 数字ボタン |
| 6. スピーカー | 19. 削除ボタン |
| 7. ETM ボタン | 20. ロッドアンテナ |
| 8. VF ボタン | 21. スタンドフラップ |
| 9. 電源ボタン | 22. 電池ボックスカバー |
| 10. 表示切換ボタン | 23. ステレオイヤホン端子 |
| 11. FM ステレオボタン | 24. 外部電源入力端子 |
| 12. FM ボタン | 25. 選局ダイヤル |
| 13. MW/LW ボタン | 26. 音量ダイヤル |

ディスプレイ表示



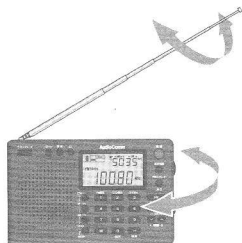
- ① 電池残量表示
- ② スリープマーク
- ③ アラームオン／オフ表示
- ④ 午前・午後表示
- ⑤ 受信レベル表示
- ⑥ アラームマーク
- ⑦ メーターバンドマーク
- ⑧ ETM マーク
- ⑨ スキャニング表示
- ⑩ 周波数表示
- ⑪ 数字表示エリア
電源切時／時計、アラーム時間等
電源入時／時計、受信レベル、音量、メモリー番号、メーターバンド、アラーム時間等
- ⑫ プリセット表示
- ⑬ 数字表示エリア
電源切時／時刻
電源入時／周波数、各種設定のオン／オフ等
- ⑭ ロックマーク
- ⑮ FM ステレオマーク
- ⑯ バンド表示

受信状態を良くするために（アンテナの設置・調整）



●MW放送・LW放送の受信

本機にバーアンテナが内蔵されています。本機の向きを変えて調節してください。



●FM放送・SW放送の受信

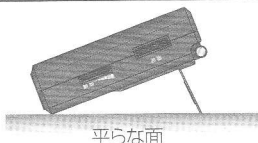
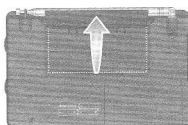
ロッドアンテナを伸ばし、アンテナの角度や、本機の向き・場所を調節してください。

ヒント

- 部屋の奥より窓際の方がよい状態で受信できます。
- SW放送の受信をさらに良くするには、付属のSW用延長アンテナをロッドアンテナにつないでください。その上で向きや角度を調整してください。
- ご希望の放送局を聴きながら、帯域幅を調節することで音声が聴きとりやすくなることがあります。「AM BW（帯域幅）設定」（P.16）を参照して調節してください。

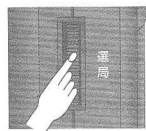
スタンドの利用について

机の上など平らな場所に設置する時は、背面のスタンドフラップを手前に起こし、寝かせてご使用ください。安定した状態で操作できます。



時計の合わせ方

※電源が切れた状態でおこなってください。



1. ディスプレイの「時」表示が点滅するまで時刻ボタンを長押しし、選局ダイヤルを使って「時」を合わせます。
2. もう一度時刻ボタンを押すと「分」表示が点滅しますので、選局ダイヤルを使って「分」を合わせます。
3. もう一度時刻ボタンを押すと、時刻設定が確定します。



「時」設定



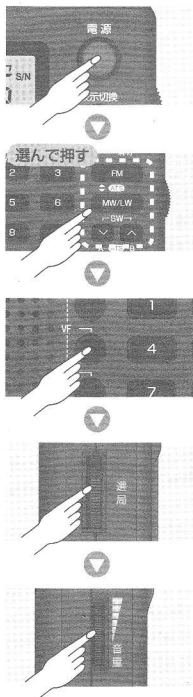
「分」設定

ヒント

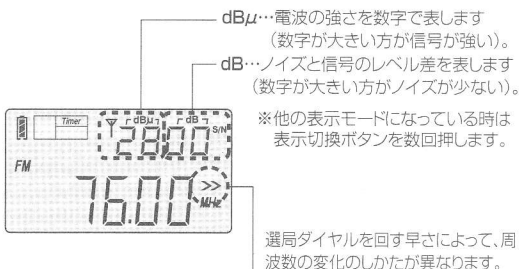
選局ダイヤルで「時」「分」を選択する代わりに、数字ボタンで直接入力することもできます（例：8時15分は「0」→「8」→「1」→「5」と入力します）。

ラジオを聴く

手動受信の方法(基本操作)



1. 電源ボタンを押して電源を入れます。ディスプレイが周波数表示に切り換わります。
2. お聴きになりたいバンドを選びます。FM放送を聴く場合はFMボタン、MW放送またはLW放送を聴く場合はMW/LWボタンを押します。また、SW放送を聴く場合は、SWボタン(V/Λ)を数回押して、お聴きになりたいメーターバンドを選びます。
3. VFボタンを押した後、選局ダイヤルを回して、お聴きになりたい放送局を選びます。
4. 音量ダイヤルで音量を調節します。
5. ラジオを切る時は、電源ボタンを押して電源を切ります。

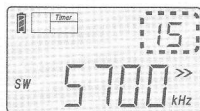


操作・表示 バンド	受信ステップ	
	> ゆっくり回す	>> 早く回す
FM	0.01MHz	0.1MHz
MW	1kHz	9kHzまたは10kHz
LW	1kHz	9kHz
SW	1kHz	5kHz



音量ダイヤルでの音量調整について

音量は0～30までの間で調節できます。音量ダイヤルを回すとディスプレイの右上にレベルが表示され、操作後約3秒で元の表示に戻ります。お聴きになるバンドによって音量が異なることがありますので、バンド切替時などは特にご注意ください。



ラジオを聴く(つづき)

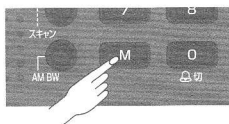
ヒント

ステップ3で数字ボタンを使い、ダイレクトに周波数を入力することでも受信できます(例: 82.5MHzは小数点を省いて「8」→「2」→「5」と入力します)。

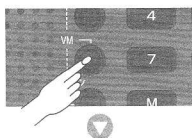
ヒント 手動メモリーの方法

メモリー登録しておく、次回からは簡単にお聴きになりたい放送局を選ぶことができます。

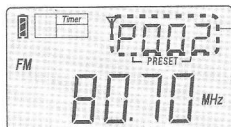
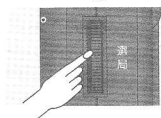
1. 受信中にメモリーボタンを押します。メモリー番号が点滅します。
 2. メモリー番号が点滅している間にもう一度メモリーボタンを押すと確定します。
- ※メモリー番号を変更したいときは、メモリー番号が点滅している間に選局ダイヤルを回して番号を指定し、メモリーボタンを押します。



手動メモリーで登録した放送局の受信方法



1. お聴きになりたいバンドを選んだ後で、VMボタンを押します。
2. ディスプレイを見ながら、選局ダイヤルを動かして、メモリー番号を選びます。



メモリー番号

※メモリー番号は数秒後に消え、ディスプレイ設定(P.9)で設定した表示内容に戻ります。

短波 (SW) 放送について

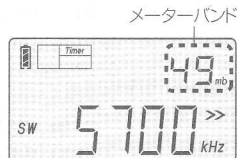
短波は地上70~500kmにある電離層に反射する特性があり、地表と電離層の間を遠くまで進むため、地球の裏側で発せられた短波放送を受信することができます。

<周波数の変更について>

小さい出力で遠くまで受信できる短波放送ですが、一方では電波の伝わり方が季節によって変化する特徴もあります。夏は高い周波数、冬は低い周波数の方がよく伝わります。そのため各放送局は複数の周波数を使うとともに、年に何回か周波数の変更を行っています。また、混信が発生した場合も周波数修正を行っています。

メーターバンドとは

短波（SW）放送は国際協定により放送局ごとに使える周波数帯を割り当てられています。この周波数帯のことを「メーターバンド」といい、これにより世界の電波の混信を防いでいます。本機が受信できるメーターバンドは以下の通りです。SW放送を受信する際は、SWボタン（V/A）を数回押してメーターバンドを選んでから選局ダイヤルで選局してください。



メーターバンド	周波数帯	主な放送局
120m	2300～2495kHz	熱帯地方のローカル局
90m	3200～3400kHz	熱帯地方のローカル局
75m	3900～4000kHz	ラジオ NIKKEI（日）
60m	4750～5060kHz	熱帯地方のローカル局
49m	5950～6200kHz	ラジオ NIKKEI（日）・ラジオ韓国（日） VOA（英）
41m	7100～7300kHz	ラジオ日本（日／英）・BBC（英） VOR（日／英） 中国国際放送（日／英）
31m	9500～9900kHz	ラジオ日本（日／英） ラジオ NIKKEI（日） BBC（英）・VOA（英） ラジオ韓国（日／英）
25m	11650～12050kHz	ラジオ日本（日／英）・BBC（英） VOA（英）・DW（英）
22m	13570～13800kHz	ラジオ韓国（英）・オランダ放送（英） ラジオフランス（仏）
19m	15100～15600kHz	ラジオ日本（日／英）・VOA（英） BBC（英）・ラジオフランス（仏）
16m	17550～17900kHz	ラジオ日本（日／英）・BBC（英） VOA（英）・ラジオオーストラリア（英） DW（英／独）
15m	18900～19020kHz	遠距離向け国際放送
13m	21450～21850kHz	ラジオ日本（日／英） ラジオオーストラリア（英） DW（英／独）

（日）…日本語放送 （英）…英語放送 （仏）…フランス語放送 （独）…ドイツ語放送

ラジオを聴く (つづき)

ラジオ NIKKEIについて

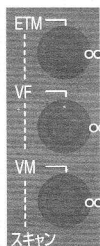
ラジオ NIKKEIには投資や株式のビジネス情報から、英会話などの教育番組や競馬情報などのエンターテインメントまで、あらゆる情報が満載です。短波放送なので、海外でも受信できます。

第1放送	JOZ4 3.925MHz	第2放送	JOZ5 3.945MHz
	JOZ2 6.055MHz		JOZ6 6.115MHz
	JOZ3 9.596MHz		JOZ7 9.760MHz

詳細は<http://www.radionikkei.jp/>をご参照ください。

本機での選局モードとメモリー登録方法について

本機では、お好みに合わせて様々な選局モード（選局操作方法）を選ぶことができます。



■選局モードの種類

ETM (Easy Tuning Mode)

●ETM (P.12)

ご利用エリアや電波状況に応じて、受信可能な放送局を一括スキャンします。スキャンした結果はETM単独のメモリー領域に自動的に保存され、簡単に呼び出すことができます。

VF (View Frequency)

●手動受信 (P.8)

●オートブラウズ受信 (P.13)

周波数をベースに選局するモードです。受信状況に合わせて周波数を微調整したい場合などに便利です。

VM (View Memory)

●自動メモリー (P.14)

●オートブラウズメモリー (P.15)

あらかじめメモリー登録操作を行い、登録された中から選局するのに便利なモードです。

■メモリー登録方法

手動メモリー (P.9)

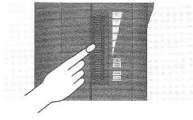
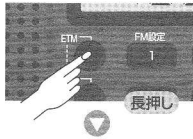
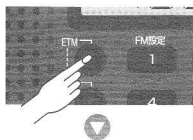
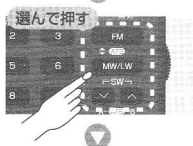
受信した放送局ごとにメモリー登録します。

自動メモリー (P.14)

受信可能な放送局をスキャンし、一括メモリー登録します。

ETM で選局する方法

ETMを使うと、受信可能な放送局を一括スキャンし、簡単に選局することができます。FM、MW、LWが各100局、SWが250局まで一時的に保存されます(合計550局)。



1. 電源ボタンを押して電源を入れ、お聴きになりたいバンドを選びます。

2. ETMボタンを押します。ディスプレイにETMマークが表示されます。

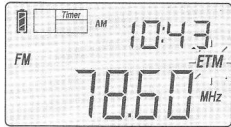
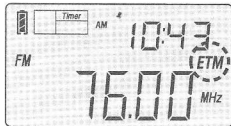
3. スキャンが始まるまで再度ETMボタンを長押しします。

4. スキャンは自動で終了します。ETMでは、選局ダイヤルの操作で、保存された放送局を順に受信できます。

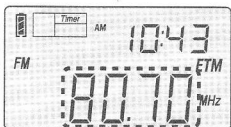
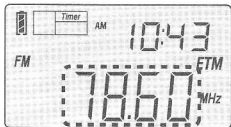
※ETMではメモリー番号の表示はありません。

5. 音量ダイヤルで音量を調節します。

6. ラジオを切る時は、電源ボタンを押して電源を切ります。



スキャン中(点滅)



ETM では選局ダイヤルを動かすと、前後の放送局へダイレクトに移動できます(周波数を指定する必要はありません)。

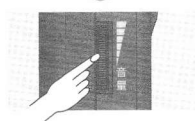
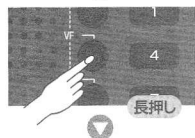
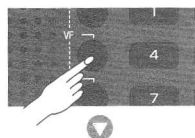
ヒント

- ETMで保存された放送局は、次にETMモードでスキャンをするまで有効です(自動/手動メモリーでの登録とは別のメモリー領域に保持されます)。
- FM放送受信時：普段で使用するエリアとは違う都市や国でETMを使う場合は、再度スキャンし直してください。そのまま使用すると、メモリー内容が更新されず、正しく受信できません。
- MW放送受信時：時間帯により受信状況が異なるため、朝と夜にそれぞれETMスキャンを行い、状況に合わせて更新することをおすすめします。
- SW放送受信時：時間帯により受信状況が異なるため、午前、午後、夜間など、その都度更新することをおすすめします。

ラジオを聴く(つづき)

オートブラウズ受信の操作方法

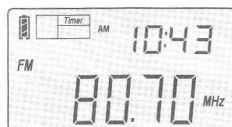
オートブラウズ受信機能を使うと、受信可能な放送局を試聴しながら、聴きたい放送局を選ぶことができます。



1. 電源ボタンを押して電源を入れ、お聴きになりたいバンドを選びます。
2. VFボタンを押します(他の選局モードで聴いていた場合は、周波数表示が2回点滅します)。
3. VFボタンを長押しします。ディスプレイにスキニング中の表示が点滅し、自動で検索が始まります。受信可能な放送局が見つかったと約5秒間試聴し、その後、次の放送局を検索します(この間も、スキニング表示は点滅し続けます)。
4. 聴きたい放送局が見つかったら、VFボタンを押します。オートブラウズを終了し、通常の受信に戻ります。途中で終了したい時もVFボタンを押します。
5. 音量ダイヤルで音量を調節します。
6. ラジオを切る時は、電源ボタンを押して電源を切ります。



スキニング中および試聴中
(点滅)



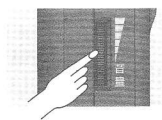
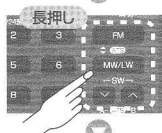
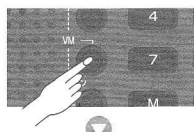
VFボタンを押すと、オートブラウズ受信を終了し、通常の受信に戻ります。

ヒント

ステップ4でVFボタンの代わりにメモリーボタンを押すと、その放送局をメモリー登録し、その後オートブラウズが再開されます。

自動メモリーを使った登録・選局方法

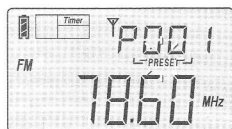
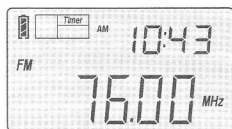
自動メモリーを利用すると、受信可能な放送局を一括してメモリー登録できます。



1. 電源ボタンを押して電源を入れ、自動メモリーを行いたいバンドを選びます。
2. VMボタンを押した後、ステップ1で押したボタンをスキニングが始まるまで長押しします。

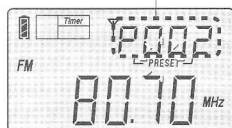
※スキニングが始まると、ディスプレイの周波数表示が変化し、受信可能な放送局が自動的にメモリー登録されます(PRESETが点滅します)。スキニングが終了するとメモリー番号001の放送を自動的に受信します。

3. 選局ダイヤルでメモリー番号を見ながら選局します。
4. 音量ダイヤルで音量を調節します。
5. ラジオを切る時は、電源ボタンを押して電源を切ります。



スキニング中(点滅)

メモリー番号



スキニング中はメモリー番号が増えていきます。

ヒント

SW放送の自動メモリーには2つの方法があります。

モードA: ステップ2でSWボタン(V)を長押しするとすべてのメーターバンドを検索して登録します。

モードB: ステップ2でSWボタン(^)を押すと、現在選択中のメーターバンド内だけを検索して登録します。

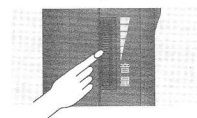
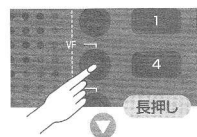
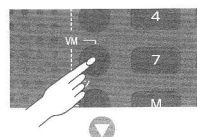
ご注意

- 自動メモリーのスキニング/メモリー登録操作は、VFモードでも可能ですが、その後選局操作をする際は、VMボタンを押す必要があります(VFモードではメモリー番号は表示されません)。
- 自動メモリーを行った場合、すでに登録された内容は上書きされます(途中で電源を切ったり、中断した場合は、その時点までの更新内容は上書きされ、残りの部分は保持されます)。ただし、モードBでSWを行った場合だけは、メモリー内容の上書きは行われず、新しく認識された放送局を空いているメモリー番号に登録します。

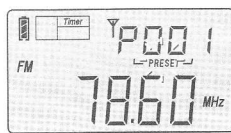
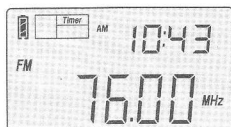
ラジオを聴く(つづき)

オートブラウズメモリーを使った選局方法

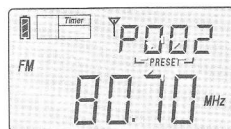
オートブラウズメモリーを使うと、メモリー登録した放送局を試聴しながら、選局することができます。



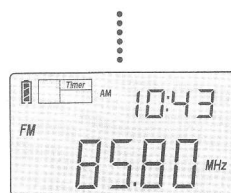
1. 電源ボタンを押して電源を入れ、お聴きになりたいバンドを選びます。
2. VMボタンを押します(他の選局モードで聴いていた場合は、メモリー番号が5秒間表示されます)。
3. VMボタンを長押しします。登録された放送局を約5秒間ずつ順に試聴できます(その間、試聴中のメモリー番号が表示され、PRESETが点滅します)。
4. 聴きたい放送局が見つかったら、VMボタンを押します。オートブラウズを終了し、通常の受信に戻ります。途中で終了した時もVMボタンを押します。
5. 音量ダイヤルで音量を調節します。
6. ラジオを切る時は、電源ボタンを押して電源を切ります。



試聴中(点滅)



約5秒で次の登録局へ移動



聴きたい放送局のところでVMボタンを押すと、オートブラウズメモリーを終了し、通常の受信に戻ります。

ヒント

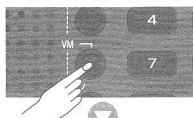
オートブラウズメモリーは、メモリー登録数が0の場合機能しません。手動メモリー、または自動メモリーで放送局を登録してから操作してください。

メモリー登録を消去する

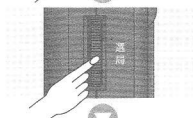
登録したメモリー内容を消去するには3つの方法があります。

手動メモリー消去

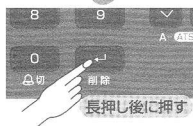
1局ずつ手動でメモリー登録を削除します。



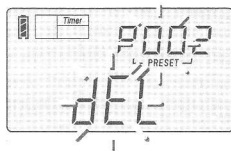
1. VMボタンを押した後、消去したいメモリー番号の放送局を受信します。



2. 削除ボタンを長押しします。メモリー番号とdELが点滅しますので、もう一度削除ボタンを押すと消去されます。



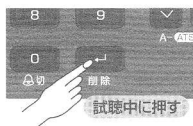
削除したい放送を選択します。



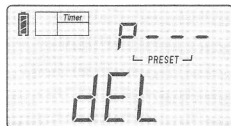
削除ボタンを押した後、もう一度削除ボタンを押すと、消去されます。

オートブラウズメモリー消去

オートブラウズメモリーを使って放送局を試聴しながら任意のメモリー登録を削除します。



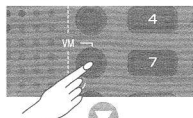
オートブラウズメモリー(P.15参照)の試聴中に、削除したい放送局のところで削除ボタンを押すと消去されます。消去後次のメモリー番号を受信しますので、続けて消去することもできます。オートブラウズメモリー消去を終了するには、VMボタンを押します。



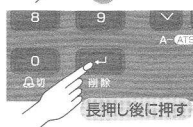
削除ボタンを押すと、上記の表示(消去中)の後、次の放送局を受信します。

全メモリー消去

本機内のメモリー登録をすべて削除します。

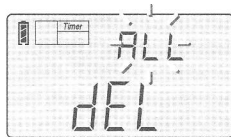


1. 電源が入っている状態で、VMボタンを押します。



2. 削除ボタンを約3秒間長押しします。

3. 「ALL dEL」と表示されたら、もう一度削除ボタンを押します。



上記の画面が表示されたら、いったん削除ボタンから指を離し、再度押します。

ご注意

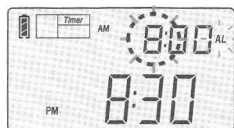
3秒以上操作しない状態が続くと、消去操作が無効になります。

メニュー設定

アラーム設定



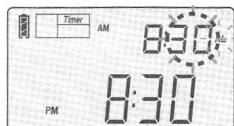
1. ディスプレイの「時」表示とALマークが交互に点滅するまでアラームボタンを長押しし、選局ダイヤルを使って「時」を合わせます。



「時」設定

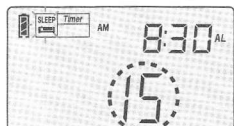


2. もう一度アラームボタンを押すと「分」表示とALマークが点滅しますので、選局ダイヤルを使って「分」を合わせます。



「分」設定

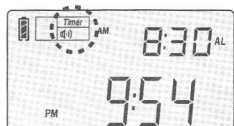
3. もう一度アラームボタンを押した後、選局ダイヤルを使ってアラームが解除されるまでの時間を設定します(1~90分の間で設定できます)。



アラーム解除時間設定

4. もう一度アラームボタンを押すと、アラーム時刻が確定し、元の画面に戻ります。

5. アラームボタンを数回押して、ラジオまたはブザー音を選びます。



アラーム音設定

(🔊): ラジオ 📢: ブザー音 表示なし: 起動しない)

アラーム起動後、音を消すには…

- アラーム音としてラジオを設定している場合は、電源ボタンを2回押すと電源が切れます。

- アラーム音としてブザー音を設定している場合は、電源ボタンを1回押すと電源が切れます。

スヌーズ機能について



アラーム音が鳴っている時、ライト/スヌーズボタンを押すとアラーム音が一時停止し、約5分後に再度鳴り始めます(一時停止中はディスプレイのアラーム設定時刻が点滅します)。アラーム解除時間を5分より短く設定している場合でも、アラームを切る操作をしない限りスヌーズが優先されます。

ヒント

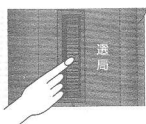
- アラーム音としてラジオを選び、電源が入ったままの状態で設定時刻になると、代わりにブザー音がなります。
- 一度設定したアラーム時刻は保持されます。次に同じ時刻で設定したい時は、ステップ5の操作だけで設定できます。

ご注意

- アラーム音が周囲の迷惑にならないよう、使用前に音量を確認してください。

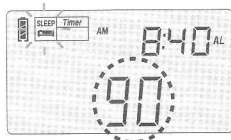
スリープタイマー

電源が切れている状態で操作



電源が切れるまでの時間を設定できます。初期設定では「On」(スリープ機能なし)になっています。

1. スリープマークが点滅するまで電源ボタンを長押しします。
2. スリープマークが点滅を始めたら、すぐに選局ダイヤルを回してタイマー時間を設定します(本機の電源が入ります)。
3. 約3秒するとスリープマークが点滅から点灯に変わり、設定が確定します。



120分、90分、75分、60分、45分、30分、15分、10分、5分、1分、On (スリープ機能なし)から選択できます。

で注意

一度設定したスリープタイマーは、通常の電源入/切操作では継続して有効になります。設定したスリープタイマーを解除したい場合などは、その都度設定し直してください。

バックライト設定



電源が切れている時に FM ステレオボタンを長押しすると、バックライトの点灯設定ができます。

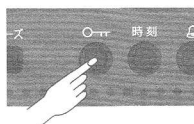
On	ボタン操作に応じて3秒間点灯
OFF	バックライト常時オフ



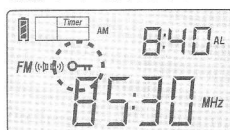
上記の設定が OFF であっても、アラームが起動していない時にライト/スヌーズボタンを押すと、一時的にバックライトを設定できます。

押す	バックライトが3秒間点灯
長く押す	バックライト常灯
もう1度押す	バックライトオフ

ロック設定



ロックボタンを長押しすると、ボタン操作が無効になり、誤操作を防止することができます(ディスプレイに「鍵」マークが表示されます)。ロックを解除するにはもう一度ロックボタンを長押しして、「鍵」マークを消します。



ヒント

電源が入っている時にロック設定をしても、音量ダイヤルだけは操作が有効になります。

メニュー設定 (つづき)

AM BW(帯域幅)設定



MW/LW放送、またはSW放送受信時にAM BWボタンを押すと、6・4・3・2・1kHzの単位で帯域幅を調節できます。帯域幅が6kHzではもっとも忠実度が高くなりますが、近接する放送電波の影響を受けやすくなります。受信状況に合わせて調節してください。

ディスプレイ設定



表示切換ボタンを押すと、押すたびにディスプレイの右上に表示される情報を切り換えることができます。電源が入っている時と切れている時で表示内容が異なります。

電源が入っている時の表示切換



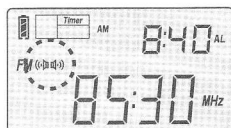
電源が切れている時の表示切換



FM ステレオ受信



φ3.5mm ステレオミニプラグのイヤホンを接続してFM放送を聴いている時、FMステレオボタンを押すとステレオ音声でお楽しみいただけます (FMステレオマークが表示されます)。もう一度押すと解除され、モノラル音声に戻ります。



ヒント

FMステレオ放送に雑音が入る場合は、FMステレオ受信を解除してください。雑音が軽減され聴きやすくなることがあります (音声はモノラルになります)。

FM 放送の受信レンジ設定

電源が切れている状態で操作



本機をご利用になるエリア(主に海外の場合)に合わせてFM放送の受信レンジを変更することができます。FM設定ボタンを長押し、さらに数回押してご希望の受信レンジを選びます。

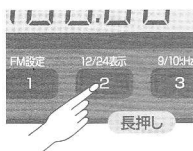
87.5-	87.5~108MHz	64-	64~108MHz
76-	76~108MHz	87-	87~108MHz

ヒント

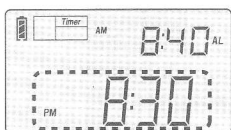
日本国内のFM放送は76- (76~108MHz) に設定してください。

時計表示設定

電源が切れている状態で操作



数字ボタン「2」(12/24表示)を長押しすると、長押しするたびに12時間表示と24時間表示を切り換えることができます。



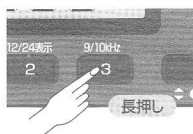
12時間表示例



24時間表示例

MW受信ステップ設定

電源が切れている状態で操作



数字ボタン「3」(9/10kHz)を長押しすると、長押しするたびにMW放送受信時の受信ステップ数を切り換えることができます。

9kHz	選局ダイヤルを早く回したときのステップが9kHzとなります。 (北米・南米以外の地域の放送)
10kHz	選局ダイヤルを早く回したときのステップが10kHzとなります。 (北米・南米の地域の放送)

ヒント 日本国内のMW放送は9kHzに設定してください。

LWのオン／オフ設定

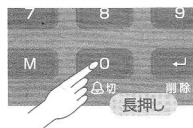
電源が切れている状態で操作



MW/LW ボタンを長押しすると、電源オン時にML/LW ボタンを押した際にLW放送を受信するか否かの設定ができます。

On	ML放送とLW放送を切り換えます。
OFF	LW放送をオフにして、MW放送のみを受信します。

操作音設定



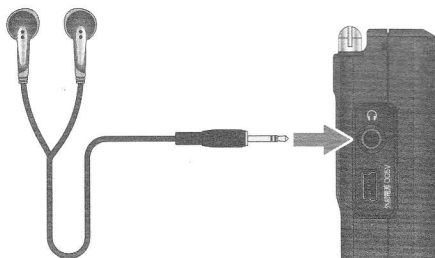
数字ボタン「0」(△切)を長押しすると、ブザー音が1回鳴り、操作に応じて操作音が鳴る設定になります(一時的に「On」と表示されます)。もう一度長押しするとブザー音が2回鳴り、操作音の設定が解除されます(一時的に「OFF」と表示されます)。

※操作音の音量調節はできません。

※イヤホン使用時でも本体から音が出ますので、ご注意ください。

イヤホンで聴く

付属のステレオイヤホン（φ3.5mmステレオミニプラグ）を、本機右側面にあるイヤホン端子につなぎます。イヤホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。



ご注意

イヤホンをご使用の際は、本機の音量を下げた状態でイヤホン端子に接続してください。また、使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼす恐れがあります。

故障かなと思ったら

症 状	チェック項目
電源が入らない	●（乾電池にて使用時）乾電池が正しく入っていますか。また、乾電池は消耗していませんか。 ●（AC 電源にて使用時）AC アダプターが正しく差し込まれていますか。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが接続されていませんか。
雑音が入る／音が震える	●近くで携帯電話を使用していませんか（携帯電話を本機から離して使用してください）。 ●テレビやパソコン、蛍光灯などの近くで、MW・LW・SW 放送を受信していませんか（雑音が入ることがあります）。また、テレビの近くで本機を使用するとテレビの画像が乱れることがあります。このような時は本機をテレビから離してください。
操作ができない	●ロック設定が有効になっていませんか。 ●内蔵のマイコンが誤作動している可能性があります。乾電池や AC アダプターを取り外し、30 秒以上経過してから再び装着または接続して電源を入れてみてください。

お手入れ方法

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯が薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、
アルコールなどは
使用しない

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

主な仕様

受信周波数	FM : 76~108MHz
	MW : 522~1620kHz
	LW : 153~513kHz
	SW : 2.30~21.95MHz
メーターバンド(SW)	120m、90m、75m、60m、49m、41m、31m、25m、22m、19m、16m、15m、13m
スピーカー	直径50mm
外部出力端子	φ3.5mmステレオミニジャック
電源	DC4.5V 単3形乾電池×3本(別売)
	外部電源 DC5V 250mA (専用ACアダプター付属)
連続使用時間の目安 ※新品のアルカリ乾電池 使用・音量中程度の場合	イヤホン使用時： FM約110時間／MW約105時間／SW約100時間／LW約105時間
	スピーカー使用時： FM約75時間／MW約73時間／SW約70時間／LW約73時間
外形寸法	幅135×高さ86×厚さ26mm(突起物含まず)
時計	精度 月差60秒以内
質量	200g(乾電池含まず)
付属品	取扱説明書(本書) 専用ACアダプター 本体収納用ポーチ ステレオイヤホン SW用延長アンテナ

※仕様および外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

※この取扱説明書で使用しているイラストは、一部実際の製品と異なる場合があります。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ

電話 受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 土・日・祝日及び年末年始は除きます
----------	--

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室**へ

●フリーダイヤル（無料） ●携帯電話・公衆電話からは

0120-963-006 048-992-2735

電話 受付	平日 9:00~17:30 土曜 9:00~17:00 ※日曜・祝日及び年末年始は除きます
----------	--

07-7968A

お詫びと訂正

取扱説明書中、一部記載事項に誤りがありました。
お詫び申し上げますとともに、下記訂正をいたします。

● P18:スリープタイマーにて

誤)

電源が切れるまでの時間を設定できます。初期設定では「On」(スリープ機能なし)になっています。

正)

電源が切れるまでの時間を設定できます。初期設定では「30」(スリープタイマー時間 30 分)になっています。

お詫びと訂正

取扱説明書中、一部記載事項に誤りがありました。
お詫び申し上げますとともに、下記訂正をいたします。

● P9:ラジオを聴くにて

誤)

※メモリー番号は数秒後に消え、ディスプレイ設定(P9)で設定した表示内容に戻ります。

正)

※メモリー番号は数秒後に消え、ディスプレイ設定(P19)で設定した表示内容に戻ります。